

授業科目

脳外科学

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 小澤 常德 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 救急 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ◎ | ○ | |

授業の概要

脳神経系に関する障害は救急現場においても多く経験され、生命に直結するものや後遺症を伴う救急疾患・受傷も少なくない。脳神経系の病態、所見の理解に基づく病院前での初期対応とともに、迅速かつ適切な医療機関の選定を行うことがきわめて重要となる。本科目では、脳神経領域の疾患（救急疾患）および受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について、またそれらの観察・評価、救急時の対応等について学習する。

授業の目的

1. 救急救命士に必要とされる脳神経系領域の疾患（救急疾患）、受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について理解し、それらの観察・評価、救急時の対応等に関する専門的な基礎知識を修得する。
本科目で学習する内容は、救急病態生理学および救急症候学で学ぶ内容と表裏一体のものであることから、これらを統合した理解が求められる。

学習目標

1. 救急救命士に必要とされる脳神経系領域の疾患（救急疾患）、受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について理解し、それらの観察・評価、救急時の対応等に関する専門的な基礎知識を修得する。
本科目で学習する内容は、救急病態生理学および救急症候学で学ぶ内容と表裏一体のものであることから、これらを統合した理解を目標とする。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|----------------------------|--------------|-------|
| 1 | 神経系疾患（1） 総論 | 講義 | 小澤 常德 |
| 2 | 神経系疾患（2） 脳血管障害 1 | 講義 | 小澤 常德 |
| 3 | 神経系疾患（3） 脳血管障害 2 | 講義 | 小澤 常德 |
| 4 | 神経系疾患（4） 脳血管障害 3 | 講義 | 小澤 常德 |
| 5 | 神経系疾患（5） 中枢神経の感染症 | 講義 | 小澤 常德 |
| 6 | 神経系疾患（6） 末梢神経疾患 | 講義 | 小澤 常德 |
| 7 | 神経系疾患（7） その他の中枢神経疾患 | 講義 | 小澤 常德 |
| 8 | 頭部外傷（1） 頭部外傷の特徴 | 講義 | 小澤 常德 |
| 9 | 頭部外傷（2） 主な頭部外傷 | 講義 | 小澤 常德 |
| 10 | 頭部外傷（3） 頭部外傷の続発証・後遺症 | 講義 | 小澤 常德 |
| 11 | 頭部外傷（4） 頭部外傷における現場活動 | 講義 | 小澤 常德 |
| 12 | 顔面・頸部外傷（1） 顔面・頸部外傷の特徴 | 講義 | 小澤 常德 |
| 13 | 顔面・頸部外傷（2） 主な顔面・頸部外傷 | 講義 | 小澤 常德 |
| 14 | 顔面・頸部外傷（3） 顔面・頸部外傷における現場活動 | 講義 | 小澤 常德 |
| 15 | まとめ | 講義 | 小澤 常德 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|----------------------|------------------|-------|-------|----------|--------|
| 教科書 | 改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻 | 救急救命士標準テキスト編集委員会 | へるす出版 | 2015年 | 9,800円+税 | 1年次購入済 |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | 必要に応じて参考資料を適宜配布する。 | | | | | |

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること